

プラン「4. 取り組むべき対策」の事業一覧表

資料6

| テーマ | 中核となるもの | 号 | 項目 | 事業の概要 | 事業主体 | ランク付け |
|-----|---------|--------|-----------------------------|--|--|------------|
| 歴史 | 高知城 | 1 | 新たな歴史系資料館の建設 | 山内家資料を中心に戦国時代から明治まで土佐の歴史資料を一室に展示する施設を整備する。 | 県 | A |
| | | 2 | 高知城内の樹木の剪定 | 天守閣を周囲から眺めることができるように、城内樹木の剪定を実施し、城の眺望を確保する。 | 県 | A |
| | | 3 | 高知城内や周辺の案内板等のリニューアル | 高知城及び周辺の案内板や看板類を安価な木製の趣のある案内板にリニューアルするとともに、ビューポイント(眺望点)から離れた場所への設置検討し、良好な景観を形成する。 | 県 | A |
| | | 4 | 観光バス客の乗降できるスペース(追手筋)の確保 | 追手門から城内への入場やひろめ市場等での土産物を買う人の流れを創出するために、追手筋周辺にバスの乗降用停車スペースを確保する。 | 市 | B |
| | | 5 | 丸ノ内緑地等の周辺にお城を眺め、憩える空間の整備 | 丸ノ内緑地等の城の周辺にお城を眺めながら憩える空間を整備する。 | 市 | A |
| | | 6 | 藤並公園へのインフォメーションセンターの整備 | 観光バス駐車場から追手門への人の流れを作るなど魅力アップのために、公園内に土産物販売や観光情報の提供、ガイド待機所等の機能を持つインフォメーションセンターを整備する。 | 事業主体 要検討 | C |
| | | 7 | 周辺の史跡や文学館等の知名度アップ | 高知城の入館者(年間約21万人)を文学館(年間約3.5万人)や大川筋武家屋敷等へ回遊させる工夫として、これらの施設等の情報発信を強化する。 | 県・市 | A |
| | はりまや橋 | 8 | はりまや橋のライトアップ | 地下道にある案内板や歌詞などの地上への移設やフォトスポットとして魅力付けとともに夜間のライトアップにより夜の人の流れを作る。 | 市 | A |
| | | 9 | はりまや橋の説明板と歌碑の設置 | 純信・お馬の物語を広く知っていただき、「はりまや橋」本来の魅力アップにつなげていく | 市・民間 | A |
| | | 10 | 南国土佐を後にして歌碑の建立 | 高知県名誉県民であるベギー葉山さんの代表作「南国土佐を後にして」の歌碑を歌曲にちなんで「はりまや橋」周辺に設置することで、「はりまや橋」のさらなる魅力付けを図る。 | 市・民間 | A |
| | | 11 | からくり時計のオーバーホール | 不人気なはりまや橋観光の中で、からくり時計は観光客等に評判が良いが、老朽化により故障が頻発しており、オーバーオールする。 | 市 | A |
| | | 12 | はりまや橋地下道の有効活用 | その存在があまり知られていない、はりまや橋公園の橋や地下道に人の流れを呼び込む仕掛け作りを行う。現在の利用形態にとられない発想での利用を検討する。 | 市・民間 | A |
| | | 13 | はりまや橋の東西ラインの良好な景観の形成 | はりまや橋の東西に位置するはりまや橋東・西都市美形成モデル地区の建築物等への修景整備へ支援を行う。 | 市・民間 | A' (継続) |
| | 土佐の偉人 | 14 | 維新ロードの整備 | 高知城の周辺の公園や「おびさんロード」出口方面から追手門に向かう道沿いに坂本龍馬等の維新の志士達の彫像を設置する。 | 事業主体 要検討 | B |
| | | 15 | 高知の偉人に因んだイベントの展開 | 坂垣退助に因んだイベントを展開している天神橋商店街での取り組みを拡大していく。 | 市・民間 | A' (継続) |
| | | 坂本 龍馬 | 16 | 坂本龍馬の言葉プロジェクト | 坂本龍馬に関する言葉などをフラフやのぼりを商店街に掲げたり、店ののれんやシャッターなど描き、盛り上げを促進する。 | 市・民間 |
| | 17 | | 坂本龍馬のレリーフの設置 | ダイエー跡地の壁を借用し、坂本龍馬の生涯を顕したレリーフを整備する。 | 市・民間 | A |
| | 18 | | 動く銅像の制作 | 幕末の志士をテーマにした等身大の可動関節を有する等身大のフィギュアの製作し、観光客にアピールするイベントを実施する。 | 民間 | B |
| 文化 | 日曜市 | 19 | 学生サポーター事業 | 大学生による高齢化する出店者の出店サポートや空きコマを活用した臨時出店を支援する。 | 市 | A' (継続) |
| | | 20 | 日曜市紹介ガイドブック | 日曜市を紹介するガイドブックやリーフレットの配布により情報発信する。 | 市 | A' (継続) |
| | | 21 | 日曜市空きコマの活用 | 日曜市の空きコマなどを活用し、休憩所などを設置する。 | 市 | A' (継続) |
| | | 22 | トイレのリニューアル | 高速千円効果、龍馬伝効果により観光客の大幅な増が期待できる。初めて高知を訪れる観光客にリピーターとなってもらえるよう、トイレ等の施設をリニューアルする。 | 市 | A |
| | | 23 | トイレ協力店の促進 | 日曜市などの観光客のためのトイレを提供する個店の協力を促進する。 | 市 | A' (継続) |
| | | 追手筋新名所 | 24 | 追手前高校の歴史的建物の活用 | 歴史的な価値や存在感のある追手前高校の建物を正面入り口部分とトイレを日曜日に開放するなど、新たな名所にする。 | 県 |
| | 25 | | 追手前小学校敷地の活用 | 統合後の敷地の活用が課題となっている追手前小学校の敷地は、県と市の図書館建設の候補であり、教育の場だけでなく、郷土関係の膨大な図書や資料を有することから、郷土文化発信の拠点となる。 | 県・市 | C |
| | よさこい祭り | 26 | よさこい祭りに関する情報を発信するスポットの整備 | 新京橋プラザ・地下道の暫定的活用も視野に入れながら、よさこい衣装や映画口ケの模様、歴代チームの映像などよさこい祭りに関する情報を一室に展示する場を創設する。 | 市・民間 | B |
| | | 27 | よさこい節の歌碑の建立 | はりまや橋公園などを活用し、「よさこい」のPR、普及に努めていく。 | 市・民間 | B |
| | | 28 | 鳴子のモニュメント設置 | はりまや橋公園などを活用し、「よさこい」のPR、普及に努めていく。 | 市・民間 | B |
| | | 29 | はりまや橋公園、地下道に踊り子の隊列を描いた壁面を設置 | はりまや橋公園などを活用し、「よさこい」のPR、普及に努めていく。 | 市・民間 | B |
| | | 30 | 中央公園ステージを利用した定期的よさこい演舞の実施 | よさこい鳴子踊りを定期・定時に演舞できる場を提供する。 | 市・民間 | B |
| | | 31 | 商店街でのよさこいPTの立ち上げ | 「よさこい」での町おこしについて、PTを立ち上げ、事業メニュー(上記の事業も含め)を検討、実施する。 | 市・民間 | A |

| テーマ | 中核となるもの | 号 | 項目 | 事業の概要 | 事業主体 | ランク付け |
|----------|-------------------|---------------|---|---|---|------------|
| 文化 | 中央公園 | 32 | 公園内の閉鎖的な空間の改善 | 公園の北東と西の樹木に囲まれた空間が日常的に家族連れなど多くの市民・県民が利用できないような形態となっている。この空間を誰もが安心して利用できるよう改善する。 | 市 | A |
| | | 33 | 公園中央部への快適な憩いの場の創出 | 平日は歩くだけの空間となっている公園中央部に、ガーデンパラスルやテーブル・チェアを並べ、観光客をはじめ県民が快適に憩える空間を創出する。 | 民間 | B |
| | | 34 | イルミネーションによる夜の演出 | 中央公園を起点に、はりまや橋やおびさんロードに、イルミネーションを飾りつけ、夜の魅力を高めるイベントを実施する。 | 民間・市 | B |
| | まんが文化 | 35 | まんが甲子園の殿堂づくり | 横山隆一記念館のある「かるぼーと」は、まんが甲子園の開催場所でもあり、前広場を活用し、歴代の優勝チームのモニュメントを設置(移設)する。 | 県 | A |
| | | 36 | まんがロードの整備 | 「かるぼーと」に近い「はりまや橋公園」から中央公園前までの間に、アンパンマンなどの県ゆかりのキャラクターの彫像を設置する。 | 市・民間 | B |
| | | 37 | まんがフラフの大量製作 | まんがキャラクター等の「ふらふ」を商店街や主要施設等に設置し、まんが王国・高知のイメージを定着させる。 | 市・民間 | B |
| | | 38 | 大量のまんがキャラクター着ぐるみ回遊イベント | まんがキャラクター等の着ぐるみが、街を自由に歩き、来街者とのふれあいを生み出すことで、特にファミリー層の街歩きを促進し、商店街の賑わいを創出する。 | 市・民間 | B |
| | | 39 | まんがロードを活用した新たなまんが関連イベントの企画・実施 | まんが関連イベントの実施により、街の賑わいを生み出すとともに、設置を検討する「まんがロード」の認知や周知につなげていく。 | 市・民間 | B |
| | | 40 | はりまや橋観光バスターミナルのまんがでの装飾 | バスターミナルをまんがのキャラクターたちで装飾し、観光客に漫画王国・高知のイメージを情報発信する。 | 市・民間 | B |
| | | 41 | 漫画からくり箱の設置 | 漫画王国・高知にふさわしい漫画を仕込んだ「のぞきからくり」装置を商店街に配置し、観光や買い物のあいまに楽しむ工夫を行う。 | 民間 | B |
| | おまち文化 (アーケード街) | 42 | 商店街の空き店舗対策 | 空き店舗へ出店する者に対し、家賃、内装費の一部を支援する。 | 県・市 | A' (継続) |
| | | 43 | 個店の業種転換への支援 | 業態変更する者に対し支援する | 県・市 | B |
| | | 44 | 商店街のイベントへの支援 | 商店街が行うイベントを支援する。 | 県・市・民間 | A' (継続) |
| | | 45 | まちなかエスコーターズ | 高知女子大学生による商店街の案内などで定着しており、今後ともこうした活動を促進する。 | 商工会議所(TMO) | A' (継続) |
| | | 46 | 中心街支援事業 | 商業(個店)活性化事業、エリアマネジメント事業など、新京橋プラザのアンテナショップにおける事業展開を図る。 | 県・市・民間 | A |
| | | 47 | コミュニティ事業 | コーディネート事業、少子高齢化対策事業、エコ推進事業など、新京橋プラザのアンテナショップにおける事業展開を図る。 | 県・市・民間 | A |
| | | 48 | 商店街広告エリアマネジメント事業 | 商店街全体をエリアとした広告物の受注制度を構築し、収益で活性化事業の財源を生み出す。 | 民間・市 | B |
| | | 49 | 商店街せり出しプロジェクト | 街のにぎわい創出のための演出と商業振興のために実施する。 | 民間・市 | B |
| | | 50 | 商店街外観整備事業 | アーケード街を統一的な風情にするために、外装を整備する商店街に支援する。 | 市・民間 | C |
| | 51 | 新たな商業スペースの創出 | 女性観光客向けのおしゃれでモダンな新たな形態の商業スペースを形成する。 | 民間 | B | |
| | 食 | 県産品販売 | 52 | 県内物産の販売拠点の整備 | 新京橋プラザに、県下全域の物産を一堂に揃え、飲食の提供や観光情報と併せた県産品販売拠点を整備する。 | 県・市 |
| 53 | | | おかみさん市の活性化 | 中心商店街での県内一次産品を商品とした、おかみさん市の展開を促進する。 | 民間 | A' (継続) |
| 土佐の食文化 | | 54 | ひろめ市場のPR | 土佐流の飲食の場として、集客・交流の中核的な施設として定着しており、観光スポットとして情報発信する。 | 民間 | A' (継続) |
| | | 55 | 土佐のおきゃくのPR | アーケード街を中心に行う、民間主導の「土佐のおきゃく」は、3月のイベントとして定着してきており、より一層県外からの誘客につなげるための情報発信を行う。 | 民間 | A' (継続) |
| 土佐の食のうまさ | | 56 | B級グルメ提供店マップ作り | なるこ井、しらす井など、創作料理を提供する店舗の紹介マップを作成する。 | 市・民間 | A' (継続) |
| | | 57 | 高知うまいものマップづくり | かつおのたたきを中心に、観光客が安心して食事が楽しめる個店の情報を網羅したマップを作製する。 | 市・民間 | A |
| | 58 | かつおのたたき薬焼き認定店 | 高知といえば「かつおのたたき」というイメージをグレードアップするために、コンテストやうまい店選びを実施し、観光客に高知の食を堪能してもらうとともに、各店のレベルアップを図る。 | 民間 | B | |
| その他 | まち歩き | 59 | ガイド付きまち歩き観光の新コースの設定 | 東向き出口が新設される新バスターミナルを出発点にしたガイド付きまち歩き観光のコースを整備し、旅行商品として売り出す。 | 市(県) | A |
| | 快適空間 | 60 | 自転車・歩行者の快適な空間の確保 | 中心部での交通実態を把握し、効果的な交通施策を実施することにより、街中での快適な空間を確保して、回遊性を高めるための交通戦略を策定する。 | 市(県) | A |
| | エリア内全域 | 61 | ビューポイント(眺望点)の設置 | お城やはりまや橋等が一番良く見えるお勧めのポイント(カメラの撮影ポイントも)を設置する。 | 市(県) | A |
| | 温泉 | 62 | 温泉プロジェクトの推進 | 「産業振興計画・地域アクションプラン」に位置付けた、温泉水の配送プロジェクトを推進する。 | 市・民間 | A' (継続) |
| | | 63 | はりまや橋公園等への足湯の設置 | 来街者の「潤いと安らぎ」を作り出すため、中心部の公園や施設等へ設置する。 | 市・民間 | C |

(注)「ランク付け」欄 A:22年度当初予算に反映させるもの、B:22年度で具体的な検討をするもの、C:実施の可否も含め、中期的な視点で検討するもの